

令和4年度

社会福祉法人 七施会  
事業計画書

令和4年 4月 1日 から 令和5年 3月 31日まで



双ヶ丘とは南北に並ぶ3つの丘の総称であり、北から順に一の丘（標高116m）、二の丘（標高102m）、三の丘（標高78m）と呼ばれる。6世紀後半から7世紀前半に築かれた24基の古墳があり、中世には天皇の遊獵地であり、高位貴族の山荘地でもあった。  
丘に七施会のNとNANASEKAIを加えて、ロゴマークとしています。

## <目次>

1. 法人概要
2. 基本理念・従事者3カ条・運営方針
3. 重点的取組み事項
4. サービス事業部門別事業計画  
広域型事業部  
地域連携型事業部
5. 業務概要・行事計画
6. 会議・研修計画
7. 委員会計画



双ヶ丘



アムール



メルシー・プルミエール・おおきに

# 1. 法人概要

## 【沿革】

年 月 日	事 業 区 分	備 考
平成 7 年 5 月 29 日	社会福祉法人 七施会	認 可
平成 8 年 4 月 30 日	特別養護老人ホームアムールうずまさ アムールうずまさ短期入所生活介護	事業開始
平成 8 年 5 月 1 日	アムールうずまさ通所介護事業所 老人介護支援センター	事業開始
平成 12 年 4 月 1 日	アムールうずまさ居宅介護支援事業所	事業開始
平成 18 年 4 月 1 日	(介護予防事業) アムールうずまさ介護予防入所生活介護 アムールうずまさ介護予防通所介護事業所	事業開始
平成 24 年 7 月 1 日	アムールうずまさ訪問介護事業所 アムールうずまさ介護予防訪問介護事業所	事業開始
平成 27 年 3 月 29 日	地域密着型特別養護老人ホームメルシーうずまさ メルシーうずまさ短期入所生活介護事業所 メルシーうずまさ介護予防短期入所生活介護事業所 メルシーうずまさ通所介護事業所 メルシーうずまさ介護予防通所介護事業所 サービス付高齢者向け住宅プルミエールうずまさ おおきにうずまさ地域交流センター	事業開始
平成 27 年 4 月 1 日	メルシーうずまさ訪問介護事業所 メルシーうずまさ介護予防訪問介護事業所 老人介護支援センター アムールうずまさ居宅介護支援事業所	所在地・ 名称変更 所在地変更
平成 30 年 4 月 1 日	アムールうずまさ介護予防通所介護事業所 →アムールうずまさ通所介護総合事業 メルシーうずまさ介護予防通所介護事業所 →メルシーうずまさ通所介護総合事業 メルシーうずまさ介護予防訪問介護事業所 →メルシーうずまさ訪問介護総合事業	介護保険制 度改正に伴 い変更
平成 30 年 7 月 1 日	アムールうずまさ居宅介護支援事業所 アムールうずまさ老人介護支援センター →メルシーうずまさ居宅介護支援事業所 メルシーうずまさ老人介護支援センター	所在地・ 名称変更

令和2年1月1日	メルシーうずまさ訪問介護事業所	休止
令和2年5月1日	アムールうずまさ通所介護事業所	定員変更 30名→25名
令和2年7月1日	メルシーうずまさ訪問介護事業所	再開

### 【事業拠点・構造】

<アムールうずまさ>

	特養	短期	通所
定員	50名	4名	25名
延床面積	1,943.42 m <sup>2</sup>		443.46 m <sup>2</sup>
居室	多床室8室 二人室6室 個室6室	二人室2室	-
敷地面積	1,883.58 m <sup>2</sup>		
構造	鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階建		

<メルシーうずまさ><プルミエールうずまさ>

	特養	短期	通所	訪問	居宅	交流	サ付
定員	29名	10名	20名×2	-名	-名	-名	8名
延床面積	1,367.30 m <sup>2</sup>	472.06 m <sup>2</sup>	129.59 m <sup>2</sup>	8.18 m <sup>2</sup>	30.16 m <sup>2</sup>	124.74 m <sup>2</sup>	565.33 m <sup>2</sup>
居室	全室個室ユニット (洗面・トイレ付)		-	-	-	-	ワソルーム
敷地面積	1,350.00 m <sup>2</sup>						
構造	鉄筋コンクリート造 4階建						

※通所:午前・午後2単位制

### 【事業の実施場所・代表連絡先】

<アムールうずまさ>

●「代表連絡先」 法人本部 ・ 特養 ・ 短期 ・ 通所

〒616-8107 京都府京都市右京区太秦一ノ井町39番地8

TEL 075-881-6666 FAX 075-864-0081

<メルシーうずまさ><プルミエールうずまさ><おおきにうずまさ>

●「代表連絡先」 特養・短期・通所・訪問・居宅・サ付・地域交流センター  
〒616-8107 京都府京都市右京区太秦一ノ井町4 1 番地  
TEL 075-881-5557 FAX 075-881-5547

### 【法人名称の由来】

七施の心とは・・・

七つの布施	布施の意味
身 施 (しんせ)	肉体による奉仕
心 施 (しんせ)	思いやりの心
眼 施 (がんせ)	やさしいまなざし
和顔施 (わがんせ)	柔和な笑顔
言 施 (ごんせ)	あたたかい言葉
牀座施 (しょうざせ)	自分の席を譲る
房舎施 (ぼうしゃせ)	わが家を一夜の宿に貸す

無財の七施とは、お金がなくても、地位がなくても、何の持ち合わせがなくとも、簡単なよう  
で難しいことではあるが、いつでも、どこでも、誰に対してでもできることです。

無財と云うのは、費用も資本も、そして能力も使わないで実行できる布施のことなのです。

法人は、この七つの布施の言葉の意味を大切に、「七施会」と名付けられました。

## 2. 基本理念

“基本的人権の尊重”

“高齢者が安定し信頼できる介護と援助”

“地域福祉との連携”

“職員資質の向上と自己研鑽”

お一人お一人の、暮らしの在り方、価値観を尊重し、心身の健康状態、好みや習慣等を包括的に  
捉えて、心を込めたサービスの提供に努め、尊厳を大切に、地域への貢献に努めます。

## 従事者3カ条

1. 全ての人が安心でき笑顔にあふれる環境づくりに努めます。
2. “そのひとらしさ”の追求と実践に努めます。
3. 安定したサービス提供に努めるため職員資質の向上と職員間の連携に努めます。

## 運 営 方 針 “利用者第一主義”

- 1) 事業所の特性に応じて、ご利用様が求めるサービスの提供に努めます。
- 2) 明るく清潔感があり笑顔あふれる事業所運営に努めます。
- 3) 個々の生活スタイルを尊重し、個別対応に努めます。
- 4) 目標達成に向けて、職種間、事業所間の連携を密にし、理解した行動に努めます。
- 5) 常に業務改善を意識し、新たな取組にも積極的な行動に努めます。
- 6) 意見は積極的に述べて、職員間の相互理解に努めます。
- 7) 事業の継続・発展のために適正利益が確保できる行動に努めます。
- 8) ステージ別による義務達成に向けた行動に努めます。
- 9) 理念・3カ条・運営方針の実践に向けて、日々自らの研鑽に努めます。
- 10) 業務の継続性を意識し、完成度を高める事に努めます。
- 11) 積極的に事業所運営状況等の開示に努めます。
- 12) 地域ニーズの把握と社会貢献へ積極的に取り組みます。
- 13) 関係法令・法人理念・諸規程・社会的ルールを遵守し、その実現のために取り組みます。  
(法人ガバナンス強化、コンプライアンス強化)

### 3. 重点的取組み事項

- 1) コンプライアンスの徹底
  - ① 内部、外部による点検を継続するとともに、不足箇所は速やかに改善し更に向上できるように努めます
  - ② 関係法令や職業倫理、個人情報取扱いについて、職員へ定期的に周知を図ります
  - ③ 記録（電磁的記録含む）の整備と適切な管理に努めます
- 2) 安定した人材確保と効果的な育成
  - ① 採用部門を立ち上げ、新卒者の採用計画を含めて効果的な採用活動ができるよう体制を整えます
  - ② 職員育成のツールを見直し、運用状況や効果を検証します
  - ③ 魅力ある職場・働き甲斐のある職場作りを推進し、離職防止につなげます
- 3) 収益の改善
  - ① 財務状況を定期的に分析し、無駄の見直しを行い必要に応じて計画を修正する等、安定した運営ができるよう努めます
  - ② 高い稼働率の維持、または稼働率の改善ができるよう、各事業の運営状況を定期的に確認し、必要に応じてサービス内容の見直しや創意工夫を行うよう努めます

#### 4) 施設整備

- ① 老朽箇所の計画的な改修により、快適で安全な環境を整備します
- ② 今後更新が必要となる箇所を確認し、優先順位を検討して備えます

#### 5) 地域貢献活動の推進

- ① コロナ禍でもできる連携を模索し、地域とのつながりの再構築を図ります
- ② 地域との定期的な情報交換により、相互理解の促進やニーズの掘り起しに努めます

#### 6) 外部発信

- ① SNS 活用により、情報発信力の強化を図ります
- ② 外部機関や組織との積極的な交流を通して、法人について知って頂ける機会を増やします

#### 7) 感染防止の取組みの強化

- ① 基本的な感染予防対策を確実に実行できるよう、全職員への定期的な啓発を継続します
- ② 感染症発生時の行動や物品の備蓄等、感染症への備えを整えます
- ③ ご利用者、職員の健康管理に努めます

## 4. サービス事業部門別事業計画

### 【利用稼働目標値】

事業区分	アムールうずまさ	
	稼働率	平均人員
介護老人福祉施設	96.0 %	48.0 名
短期入所生活介護	108.0 %	4.3 名
通所介護	64.0 %	16.0 名

事業区分	メルシーうずまさ	
	稼働率	平均人員
地域密着型介護老人福祉施設	97.0 %	28.1 名
短期入所生活介護	96.5 %	9.6 名
通所介護	75.0 %	30.0 名
訪問介護	— %	13, 0 名
居宅介護支援	— %	130.0 名

※メルシー通所介護：午前・午後2単位制

事業区分	プルミエールうずまさ	
	稼働率	平均人員
サービス付高齢者向け住宅	98.0%	7.8名

【目標達成に向けた各事業所の重点的取組み事項】

アムールうずまさ

介護老人福祉施設
1) ご利用者の権利や価値観を尊重したサービス提供を行います 2) 感染対策に努めるとともに、災害への備えを万全なものにできるよう整えます 3) 職員の介護技術や対応力を向上させ、ご利用者が安心して安定できるサービス提供に努めます
短期入所生活介護
1) 感染対策に努め、安心して利用できるサービス環境を整えます 2) ご利用者お一人お一人に合わせたケアや関わりを行います 3) ご家族やケアマネジャーとの連携強化、信頼関係の構築に努めます
通所介護
1) 感染防止しながらも、他のご利用者や職員との関わりを通して社会性が確保され 楽しみをもって利用できるサービス提供を行います 2) 心身の状態が少しでも良くなるよう提供プログラムを工夫します 3) ご家族やケアマネジャーとの連携強化、信頼関係の構築に努めます

メルシーうずまさ

地域密着型介護老人福祉施設
1) ご入居者の変化への「気付き」を大切にし、安心して暮らせるように多職種で連携し情報の共有を行います 2) 日々変化するご入居者の状態を把握し、「その人らしさ」を大切にした介護サービスの提供に努めます 3) 外部・内部研修に積極的に参加し、職員全体の介護力の向上に努めます
短期入所生活介護
1) ご利用者に喜ばれるケア、ご家族に安心をもたらすケアが出来るように情報の共有を行います 2) 感染防止に努め、安心・安全に利用できる環境を提供します 3) 外部・内部研修に積極的に参加し、介護力の向上に努めます



通所介護
<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 安心・安全な環境と感染防止を徹底し、サービス提供を継続します</li> <li>2) ご利用者、ご家族の個別の目標や目的が達成できるよう提供プログラムの充実を図ります</li> <li>3) 積極的に研修や外部の事業所との連携を図り、専門職として広い視野で知識・技術のスキルアップに努めます</li> </ul>
訪問介護
<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 安心・安全な環境と感染防止を徹底し、サービス提供を継続します</li> <li>2) ご利用者、ご家族が安心してその人らしい生活が維持できるよう信頼関係を築き対応します</li> <li>3) 積極的に研修や外部の事業所との連携を図り、専門職として広い視野で知識・技術のスキルアップに努めます</li> </ul>
居宅介護支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>1) その方を中心に家族や関わる多職種との連携を図り、その人らしい生活を支援します</li> <li>2) 地域との関わりを大切にします</li> <li>3) 積極的に研修に参加し、専門職としての知識や技術のスキルアップを目指します</li> </ul>

#### プルミエールうずまさ

サービス付き高齢者向け住宅
<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 安心・安全な環境と感染防止を徹底し、サービス提供を継続します</li> <li>2) ご入居者、ご家族との信頼関係をしっかりと築き、元気になる生活の援助をします</li> <li>3) 積極的に研修等に参加し、専門職として広い視野で知識・技術のスキルアップに努めます</li> </ul>

## 5. 業務概要・行事計画

感染予防に留意し、できるだけ個別や少人数にて無理のない範囲で実施する。

外部ボランティア等の受入れは感染状況に合わせて検討する。

※ 別紙

## 6. 会議・研修計画

原則アムール・メルシー合同ではなくそれぞれの施設別で開催し、必要に応じてオンラインを活用

用する。感染状況が落ち着けば合同開催も検討する。

※ 別紙

## 7. 委員会計画

原則アムール・メルシー合同ではなくそれぞれの施設別で開催し、必要に応じてオンラインを活用する。感染状況が落ち着けば合同開催も検討する。

※ 別紙